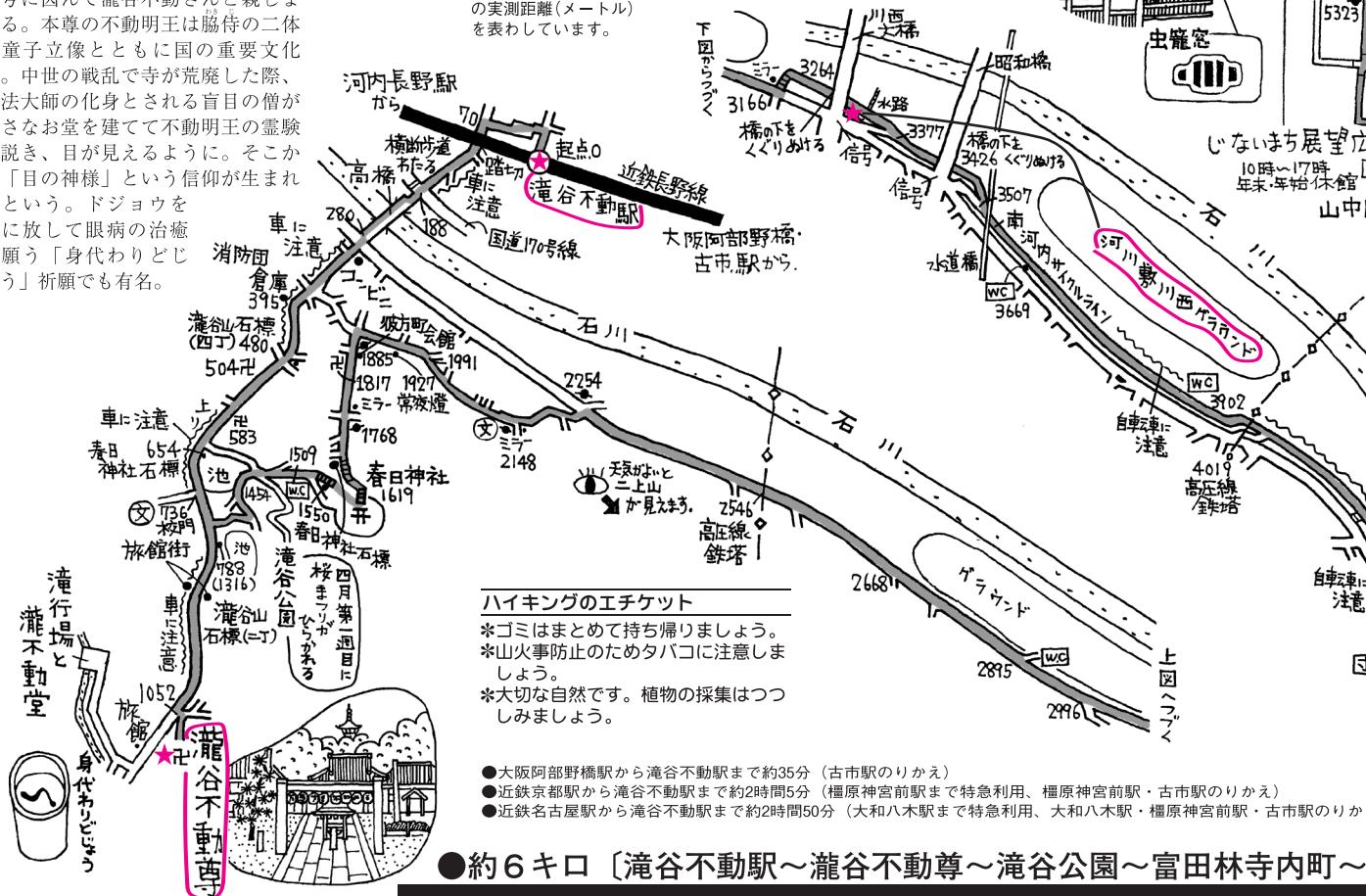


# てくてく 大阪-17まつぶ

コースのあらまし 日本三不動のひとつに数えられる南河内の名刹・瀧谷不動尊から、大和川水系の一級河川・石川の右岸堤防沿いを北上。金剛大橋を渡って富田林の寺内町に入り、重文指定の旧家などを巡る。平安時代初期の創建ながら現代も人々の信仰を集め名刹の雰囲気、見晴らしのよい河川敷沿いのウォーキング、室町時代末期に形成された寺内町の風情と、3つの楽しみがあるコース。スタートから瀧谷不動尊までを除き、上り下りの少ない平坦な道。

**瀧谷不動尊** 弘仁12（821）年、弘法大師の創建と伝える真言宗智山派の寺。正式には瀧谷不動明王寺だが、山号に因んで瀧谷不動さんと親しまれる。本尊の不動明王は脇侍の二体の童子立像とともに国の重要文化財。中世の戦乱で寺が荒廃した際、弘法大師の化身とされる盲目の僧が小さなお堂を見て不動明王の靈験を説き、目が見えるように。そこから「目の神様」という信仰が生まれたという。ドジョウを川に放して眼病の治癒を願う「身代わりどじょう」祈願でも有名。



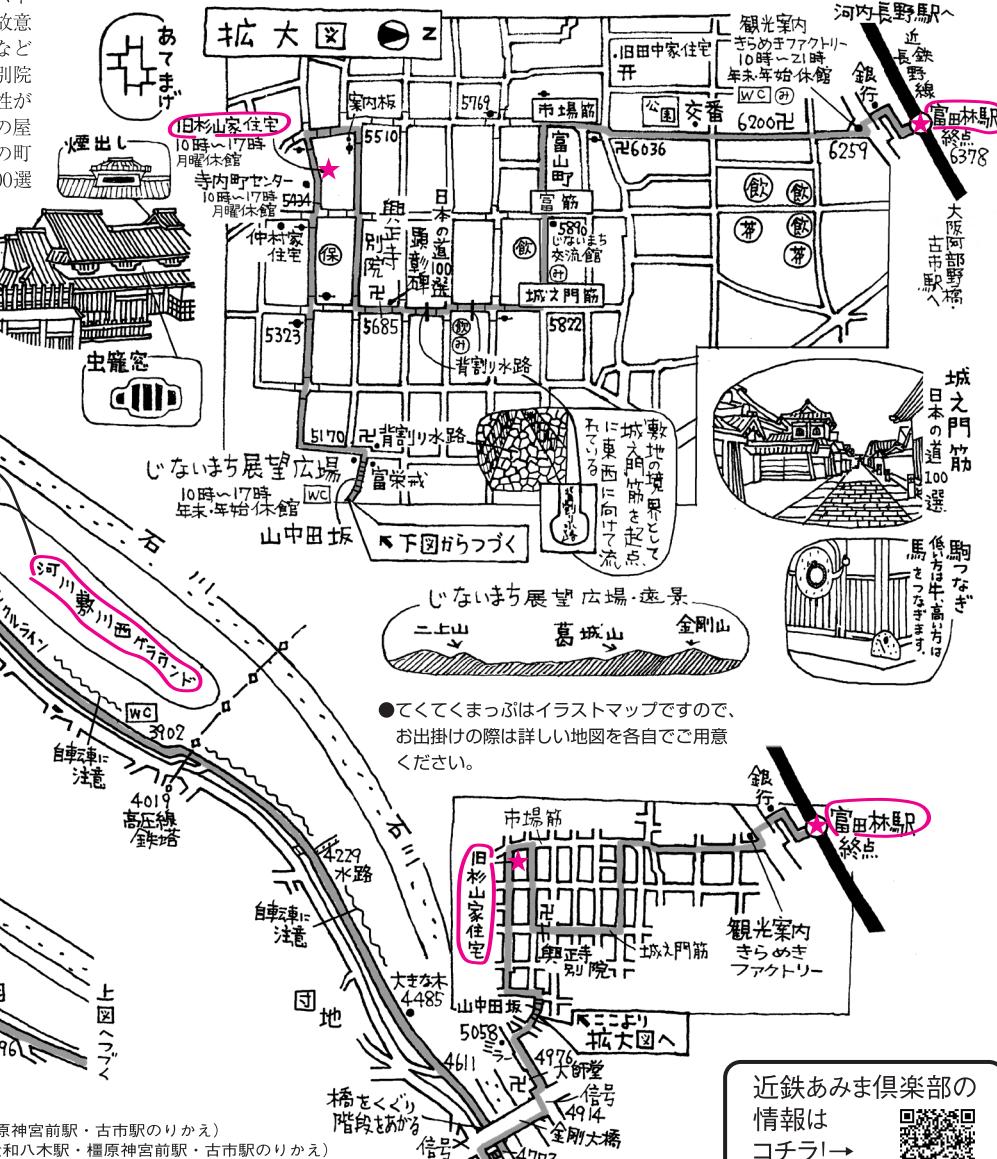
**富田林寺内町** 戦乱に明け暮れた室町時代末期の永禄元（1558）年頃、京都本願寺系の興正寺の門跡が、興正寺別院（国重要文化財）を創建。この寺院を中心に形成された宗教自治都市が富田林寺内町。創建当時の計画的な六筋七町の町割りが残り、商業も栄えたことから、造り酒屋であった旧杉山家住宅（国重要文化財）をはじめ、仲村家住宅（府指定文化財）、旧田中家住宅（国登録有形文化財）など、重厚な旧家住宅が現存する。一帯は、大阪府内唯一の重要な伝統的建造物群保存地区。

●地図内の数字は、起点からの実測距離（メートル）を表わしています。

●コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の個所があります。

- ..... 道標
- ..... 飲食店
- ..... 喫茶店
- ..... おみやげ店

★は近鉄あみま俱楽部アプリのチェックポイントです。



きれいな思い出 きれいな自然  
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

企画・発行=近畿日本鉄道（株）  
制作・印刷=（株）アート近鉄  
イラストマップ=宮野耕治  
※無断転写禁ず。

近鉄

## 日本三不動の寺から「じないまち」巡りコース